

平成 21 年 5 月 25 日現在

研究種目：基盤研究 (C)研究期間：2006 ~ 2009

課題番号：18520524

研究課題名 (和文) 後藤新平にみる西洋公衆衛生思想の受容

研究課題名 (英文) Shinpei Goto's reception of the European public health thought

研究代表者

尾崎 耕司 (OZAKI KOJI)

大手前大学・総合文化学部・准教授

研究者番号：10309396

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学、近・現代史

キーワード：衛生、行政、イギリス、19 世紀

1. 研究計画の概要

研究代表者 (尾崎) の問題意識は、行政というものの存在から、日本近代社会の歴史を再検討するというにあり、これを特に医療や公衆衛生に焦点を当てて分析をおこなおうと考えている。

本研究では、明治期の衛生官僚、特に後藤新平を具体的対象として取り上げ、彼が衛生思想を確立する上で強く影響を受けたといわれる、イギリスやドイツの衛生思想について検討をするのが当面の課題となる。

なかでも、後藤は、ドイツの衛生医官 Louis-Pappenheim の著作を通じてイギリスの公衆衛生制度、特に 1871 年創設の the Local Government Board (以下、LGB) と、その創設に尽力したイギリスの衛生家 John-Simon の思想に注目している。

そこで、

- (1) Louis-Pappenheim の著作を分析し、後藤新平が受容したものとしなかったものを検討すること。この点については、名古屋大学医学部に、Pappenheim の著作原本が残されているので、この閲覧・複写を国内調査として実施したい
- (2) LGB や Simon、John-Lambert らその創設にかかわった人物、ひいてはこれらの動きの原点ともなった Edwin Chadwick らによる General Board of Health 設立 (1848 年) にみられるようなイギリス公衆衛生行政の中央集権化の動きを検討すること。これは、Public Record Office や議会文書、University College London 図書館 Special Collections 所蔵の Chadwick

Papers などに資料が残されているので海外調査を実施し、その分析を進めたい

が、実際の作業となる。

- (3) また、西洋公衆衛生思想についてはもう一点、イギリス Public Record Office に収蔵される、国際的な伝染病流行に対して開かれた万国衛生会議の資料を分析し、国際的な伝染病予防や海港検疫の標準化の問題についても検討を加えたい。

2. 研究の進捗状況

これまでのところ、

- (1) 2006 年度には、国内調査を実施し、名古屋大学医学部図書館所蔵の Louis-Pappenheim “*Handbuch der Sanitatspolizei : nach eigenen Untersuchungen*” 第 2 版の全部、および後藤新平が在籍した愛知県病院の関係文書を閲覧し複写物を持ち帰った。また、イギリスでの調査をおこない、John-Lambert のパーソナルファイルを全てデジタルカメラにて撮影し持ち帰った。
- (2) 2007 年度には、イギリスおよびドイツでの調査をおこない、ドイツ国立図書館では、Pappenheim の業績を記した文書 (*Monatschrift für exacte Forschung auf dem Gebiete der Sanitats-Polizei / Hrsg. von Louis Pappenheim, Berlin: Springer, 1860-1862*) の複写を、またイギリスでは、Public Record Office における史料調査、および University College

London 図書館 Special Collections 所蔵の Chadwick Papers のうち、公衆衛生に関する文献のデジタルカメラによる撮影をおこなった。

- (3)2008 年度も、引き続きイギリスでの調査をおこない、Public Record Office における史料調査、および University College London 図書館 Special Collections 所蔵の Chadwick Papers のうち、公衆衛生に関する文献のデジタルカメラによる撮影をおこなった。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

当初予定した国内外の調査は、その予定通りに進められており、必要な資料も複写やデジタルカメラでの撮影などにより持ち帰ることができている。ただし、manuscript の解析にやや時間が取られているため、調査結果の発表にまだ至っていないのは残念である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究の申請時には、1871 年創設の the Local Government Board に集中して分析することを予定していたが、イギリス公衆衛生行政の中央集権化の問題を理解するには、Edwin Chadwick らによる公衆衛生運動や the General Board of Health 設立の意味を明らかにすることが避けて通れないことがわかった。そこで、対象とする時期を 30 年ほど戻り、全体として検討する必要がある。

また、上記課題に時間と労力を配分する必要があるため、もう一つの課題である万国衛生会議関係の資料の分析は、今後の課題とせざるをえないように思われる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

- ①尾崎耕司、「内務省医系技官・衛生局長」、『都市問題』後藤新平生誕 150 周年記念 8 月号特別増刊、98 巻、10-11 頁、2007 年、査読なし、